



■主な自然環境対策の取組み

「早稲田リサーチパーク地区」と「本庄早稲田駅周辺地区」の地域整備事業では、本庄新都心地区環境検討委員会の提言や、学識委員ヒアリングに基づき様々な自然環境対策が実施されています。主なエリアごとの取組みは、以下の通りです。

Ⅱ. 屋上緑化試験エリアー早稲田リサーチパーク地区ー

旧グラウンドに新規建設された研究棟等の建物については、北側の法面同様に環境検討委員会により緑化が提言されました。

環境条件の良くない屋上での緑化は、当面、簡便な手法による試験を試み、その状況をモニタリングしたうえで改善を図っていくものとされています。



●2005年4月15日
インキュベーション施設棟の
屋上緑化



●2005年4月15日
環境情報実験棟の屋上緑化



●2005年4月15日①
屋上緑化春期の状況



●2006年4月21日②
屋上緑化春期の状況



●2008年5月12日③
屋上緑化春期の状況



●2009年4月30日
屋上緑化 春期



●2010年5月6日
屋上緑化 春期



●2011年8月31日
屋上緑化 夏期

屋上の各試験区ごとに違いがみられましたが、建設段階で造園業社により主にシバやメキシコマンネングサが植栽され、部分的な定着がみられました。

2011年以降は、オオタカ生息上の人為的違和感の改善、地域の自然再生、生物多様性保全、自然景観との調和等を視野に入れ、ススキやチガヤなどの地域在来草本を用いた群落形成緑化が試験的に取組まれています。

◆チガヤの移植・群落形成試験 (93号館)



●2011年6月30日
校内のチガヤ自生地



●2011年6月30日
チガヤの種子採集



●2011年6月30日
チガヤの種子



●2011年7月1日
競合草本の除去



●2011年7月1日
チガヤの種子を播種



●2011年7月1日
水まき



●2012年10月14日
チガヤの発芽・生育を確認



●2013年5月15日
チガヤの生育状況



●2014年5月27日
チガヤの分布拡大



●2014年5月27日
チガヤの開花・結実

チガヤの移植・群落形成試験区では、2011年の播種以降、発芽・生育が確認され、2013年に開花・結実・定着が認められ、2014年より群落としての分布拡大が進んでいます。



●2014年9月10日
屋上緑化 夏期



●2015年8月31日
屋上緑化 夏期



●2016年11月2日
屋上緑化 秋期



●2017年6月15日
屋上緑化 春期



●2018年8月29日
屋上緑化 夏期



●2020年11月16日
屋上緑化 秋期

◆チガヤ群落と地域在来構成種の移植・群落形成試験（94号館）

93号館屋上でのチガヤの定着と群落化が進んだことから、2017年以降に94号館屋上でチガヤ群落に加え地域の在来種（ノハラアザミ等）を活用した緑化定着試験が段階的に始まりました。



●2017年6月15日
レンガによる枠作り



●2017年6月15日
試験区の設定



●2017年6月15日
黒土を盛土



●2017年6月15日
盛土後の様子



●2017年6月15日
チガヤの移植株



●2017年6月15日
チガヤの移植後の様子



●2018年7月4日
散水の様子



●2019年8月29日
周辺学内踏査で確認された
ノハラアザミ



●2019年8月29日
周辺学内踏査で確認された
キツネノマゴ



●2019年8月29日
周辺学内踏査で確認された
ツクサ



●2019年11月5日
乾燥防止のための藁敷き



●2020年6月24日
試験区における生育状況



●2020年6月24日
ノハラアザミの発芽株



●2020年6月24日
キツネノマゴの発芽株



●2020年6月24日
ツクサの蕾



●2020年9月1日
94号館屋上試験区における種の多様性を重視したチガヤ群落の生育状況

チガヤだけでなく、ノハラアザミやキツネノマゴ等を含む地域在来種の発芽および定着がチガヤ群落内で確認され、昆虫も含めた生物多様性の高い草地環境の創出による屋上緑化試験が取組まれます。